

長崎県幼児教育センターだより



No. 13



2025. 3. 24



～新しい年度に向けて～

各園におかれましては、希望を胸に卒園生が力強く巣立ち、また進級に向けて様々な思いを膨らませている子どもたちと年度の締めくくりに向けて、一日一日、丁寧に過ごされていることと思います。

さて、長崎県幼児教育センターも3年目を迎えようとしております。今年度は訪問支援が昨年度の実績を3倍以上も上回り、130園にご利用いただきました。また新たな研修の機会も増え、多くの先生方にご参加いただきました。保育の質の向上、保育者の資質向上という点に多くの園と先生方が熱い思いをもち、真摯に学ぶ姿を様々な場面で拝見し、大変嬉しく、また頼もしく感じているところです。

さらに、令和7年度は市町幼児教育アドバイザーフォローアップ研修や自主的に公開保育にチャレンジしたい園を応援する事業など新たな取組を検討中です。また、子どもの主体性を育てる幼児教育について家庭向けの情報発信も検討しています。

今後も引き続き、皆さまに寄り添い、新たな挑戦も盛りだくさんでセンター課員一同、力強い歩みを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします！



～令和7年度の研修計画～

来年度の研修についてお知らせいたします。下の(1)～(5)の他にも、初任や中堅の先生向けのオンライン研修も計画しております。随時、お知らせいたしますので、奮ってご参加ください。

(1) 園長等運営管理協議会

テーマ：「遊びの中の学び～小学校へつながる学びについて～」

期日・場所：令和7年6月12日（木）長崎県庁1階大会議室

6月13日（金）長崎大学附属幼稚園にて公開保育と協議会

(2) 幼児期の教育・保育力向上研修会

テーマ：「遊びの中の探求について」

期日・場所：令和7年8月22日（金）大村市ミライ on 図書館

(3) 幼児教育研究協議会Ⅰ（都道府県協議会）

協議主題「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」

研究園：新上五島町立有川幼稚園

期日・場所：令和7年7月29日（火） 新上五島町立有川幼稚園

(4) 幼児教育研究協議会 2

協議主題「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」

研究園：御堂青い実幼児園

期日：令和7年10月予定 会場未定

(5) 幼児期の特別支援教育研修会

テーマ「関わり方が難しい子への対応、個別的教育支援計画、個別の指導計画の作成及び活用について」

期日・場所：令和7年11月18日（火） 長崎県庁3階会議室

～おめでとうございます！～

年度の終わりに、嬉しいニュースが飛び込んできました。以前、読書の取組を工夫されている園としてご紹介した諫早市のとんぼ保育園（園長：吉岡健氏）が子供の読書活動優秀実践園として、文部科学省の表彰を受けることが決定いたしました！

とんぼ保育園では、園の教育理念や方針を踏まえ、読書担当職員を中心に園全体で子どもの読書を推進しています。主な取組として、0歳児からの絵本コーナーの設置や玄関フロアで親子読書ができる絵本スペースの整備、読み聞かせにおける絵本の選定や読み方などの工夫、そして絵本の世界を遊びや制作、行事へと広げ、絵本を幅広く活用しています。さらに、園便りで親子読書の啓発を行い、地域図書館の利用や県幼児教育アドバイザーを活用した園内研修の充実等、様々な取組を行っています。絵本と子どもをつなぐ素敵な架け橋の役割を生き生きと果たしてこられた先生方お一人お一人の歩みが、今回の表彰へとつながったのではないのでしょうか。とんぼ保育園の先生方、本当におめでとうございます！



玄関には親子で読書を楽しめる 絵本の世界を制作へ
楽しい絵本スペースを工夫！



絵本のキャラクターを掲示し
遊びへの発展も！

（文責：石田 久美子）

先月号のコラム「文字と言葉」に反響があり、中には「園便りに載せていいか」という問い合わせがありました。私たち幼児教育センターの願いの一つに、「乳幼児期に大切なことを保護者や地域の方にも分かっていたきたい」という思いがあります。園便りで保護者に発信していただけるなら、それはたいへん有難いことです。今後も、ここに記載されていることで、保護者にも伝えたいと思えた内容は、どうぞご自由にお使いください。文章の最後にも「長崎県幼児教育センターだより」よりと記載していただければ大丈夫です。

令和7年度も研修、訪問支援、情報発信など皆様のお役に立てるセンターとなれるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思います。

（センター長 室野）

令和7年度の訪問支援について

令和5年度から始まりました訪問支援（研修会講師含む）、1年目は64件でしたが、2年目は177件と3倍近くになりました。たくさんのご依頼ありがとうございます。

令和6年度は、学ぶ保育士等応援事業が新しく始まり、そのおかげで今まで訪問したことがない園からも依頼をいただき、訪問支援の良さを知っていただくことができました。学ぶ保育士等応援事業は令和7年度も引き続き実施されます。まだ訪問支援を受けたことがない園は一度受けてみられませんか。学ぶ保育士等応援事業対象の訪問支援は「保育助言」か「不適切な保育防止の研修」のどちらかを選んでいただきます。

令和7年度はセンターも3年目になり、訪問支援の依頼件数が増えることが予想されます。そこで、できるだけ多くの園を訪問できるように「令和7年度ルール」を追加いたします。

<利用アンケートより>

職員は、アドバイザーの方が来園する前はとても緊張しておりましたが、訪問後は笑顔が見られ、リラックスして報告してくれました。今後の保育に意欲をもって取り組みそうです。

訪問支援に関する令和7年度ルール

①年度ごとに1回目の利用を優先（令和6年度の利用は回数に含まれません）

訪問支援の良さを分かっていただき、複数回の利用をしていただいた園もあり、ありがとうございます。

令和7年度は、2回目の利用については、訪問依頼が集中した場合、1回目の利用の園を優先させていただきます。2回目以降のご希望については、時期をずらしていただいたり、お断りさせていただいたりする場合がありますことをご了承ください。

②要録の研修は市町巡回研修のみ（個別に園での研修は行いません）

令和6年度に市町巡回研修として要録の研修を行いました。それが良かったのでと訪問支援でも依頼をされた園が少数ありました。できるだけお応えしてきましたが、令和7年度は、市町巡回研修で要録の研修は実施しますが、個別対応はしないこととさせていただきます。ご理解ください。

～皆さま、大変お世話になりました！～

この度の人事異動で、西海市立西海東小学校へ異動となりました石田です。長崎県幼児教育センター開設から2年間、皆さまには大変お世話になりました。幼児教育という新たな世界での学びはとても新鮮であり、この世界を通じて出会えた皆さまとよりよい幼児教育・保育について共に学ぶ機会をいただけたことは、小学校教員としてもとても貴重な時間となりました。これからも、県下のかけがえのない子ども一人一人のために力を尽くすという同じ思いをもち、それぞれの場所で、心を込めて目の前の子どもと向き合っていきたいですね。それでは皆さまどうぞお元気で。2年間ありがとうございました。